

# 資料提供

提供年月日:平成 30 年(2018 年)10 月 24 日

所属名:(公財)国際湖沼環境委員会(ILEC)

担当者:山崎、市木

電話:077-568-4573

E-mail:infoilec“at”ilec.or.jp

“at”を@に変更してください

---

## JICA 課題別研修「水資源の持続可能な利用と保全のための統合的湖沼・河川・沿岸流域管理」コースを実施します

公益財団法人 国際湖沼環境委員会(略称:ILEC アイレック)では、平成 28 年度から JICA 課題別研修「水資源の持続可能な利用と保全のための統合的湖沼・河川・沿岸流域管理」コースを実施しており、今年度も 6 か国 9 名の研修員に対して下記概要により研修を実施します。

### 記

#### 1 研修目的

湖沼や貯水池等の流域管理手法の一つである「統合的湖沼流域管理(Integrated Lake Basin Management, ILBM)」を出発点に、湖沼、河川、沿岸域を含む静水、流水システムの適切な管理のあり方について、研修員の理解を強化することにより、開発途上国の流域管理のガバナンス向上に寄与することを目的としています。

※ 「統合的湖沼流域管理(ILBM)」は、湖沼とその流域などの静水システムを統合的に管理・保全していく手法の一つであり、湖沼を持続的に保存していくために、中・長期的な視点に立って、6 つの要素(組織・体制、政策、参加、技術、情報、財政)を統合して湖沼流域を管理していく点に特徴があります。



**2 研修期間** 平成 30 年 10 月 25 日から 12 月 21 日 (約 2 か月間)

#### 3 研修員の人数・出身国

6 か国 9 名 [エジプト、エチオピア、インド、イラク(2)、ミャンマー、スーダン(3)]

**4 対象者** 流域管理に関わる開発途上国の技術系行政官、研究者 等

#### 5 主な研修項目

- (1)講義: 統合的静水・動水流域管理、地理空間情報技術の基礎 ほか
- (2)演習: カントリーレポート(各国の流域管理事情)発表会、琵琶湖の水採取分析実習、アクションプラン(帰国後の行動計画)の作成・発表 ほか
- (3)視察: 琵琶湖淀川流域における取組み現場の視察、環境 NGO 活動の視察 ほか

## 6 使用言語 英語

## 7 研修実施体制および運営

委託機関：独立行政法人 国際協力機構 関西国際センター(JICA 関西)

受託機関：公益財団法人 国際湖沼環境委員会(ILEC)

コースリーダー：公益財団法人 国際湖沼環境委員会 副理事長 中村 正久

(滋賀大学 環境総合研究センター 特別招聘教授)

## 8 取材に関するご案内

取材いただける場合は、ILEC 支援研修課(担当：山崎)までご連絡ください。

TEL:077-568-4573(Email: infoilec“at”ilec.or.jp) “at”を@に変更してください

### 【参考：昨年度の研修】

日時：平成 29 年 9 月 1 日から 10 月 27 日まで

参加人数：10 名

(アルバニア、エジプト、エチオピア、インド、イラク(2)、メキシコ、ミャンマー、スーダン、ウガンダ)

### (昨年度研修の様子)



### ○JICA 課題別研修の ILEC 実績

課題別研修「水資源の持続可能な利用と保全のための統合的湖沼・河川・沿岸流域管理」は、前身の研修を含めると、平成 2～29 年度までの 28 年間で 54 か国 278 名の研修員を受け入れています。

※ 課題別研修とは、日本側で開発途上国側の課題を想定して研修計画を策定した上で、途上国側に実施を提案し、各国の要請に応じ、原則、複数か国から研修員を受け入れる研修です。